

兵庫県水産技術センターだより

赤潮情報 AK-02-08 号 (播磨灘北部)

令和2年7月27日発行

7月27日に赤潮プランクトン調査(播磨灘北部：定期調査及び臨時調査)を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン(シャットネラ・オバータ、アンティカ、マリーナ)が増加傾向にあります。魚類養殖、活魚の運搬や畜養、漁船の航行には十分にご注意ください。
- ・今後とも海況や海色の変化にご注意願います。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値	
注意体制： 10 細胞/ml	警戒体制： 100 細胞/ml
カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	
注意体制： 500 細胞/ml	警戒体制： 5,000 細胞/ml
ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	
注意体制： 50 細胞/ml	警戒体制： 500 細胞/ml

※シャットネラ・オバータについては本県では基準密度を設定していませんが、同属のシャットネラ・アンティカ、マリーナと同等の注意や警戒をお願いします。

赤潮プランクトン調査結果(海水1ミリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深(m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロブサ	シャットネラ・ベレキウロサ	ココロディウム・ポリクリコイデス	ヘテロギマ・アカオ
H2	0	0	0	2.7	34.0	40.0	0	0	0
	5	0	0	7.3	14.0	26.0	0	0	0
	10	0	0	3.3	23.3	40.0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	1.3	0	0	0
H28	0	0	0	1.3	0.7	0	0	0	0
	5	0	0	1.3	0.7	23.3	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	16.7	0	0	0
H30	0	0	0	6.0	13.3	85.3	0	0	0
	5	0	0	1.3	2.0	32.7	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	1.3	0	0	0
H31	0	0	0	5.3	41.3	48.0	0	0	0
	5	0	0	4.7	11.3	48.7	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
Bz1	0	0	0	0.7	20.7	52.0	0	0	0
	5	0	0	0	11.3	38.0	0	0	0
	10	0	0	3.3	10.0	53.3	0	0	0
	B-1	0	0	0.7	0	8.7	0	0	0
Bz2	0	0	0	3.3	11.3	48.0	0	0	0
	5	0	0	3.3	12.7	43.3	0	0	0
	10	0	0	4.7	11.3	42.0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時1 (西島北側・湾奥)	0	0	0	4.0	20.7	64.0	0	0	0
	5	0	0	0.7	6.0	46.0	0	0	0
臨時2 (西島北側・湾口)	0	0	0	2.0	7.3	37.7	0	0	0
	5	0	0	0.7	7.3	26.0	0	0	0

【今後の調査予定】 次回は8月3日に定期調査(播磨灘北部)を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報AK-02-09号」として発行予定です。

§お問い合わせ先§ 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当：水産環境部 宮原、中桐)
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>